

子宮頸がん予防接種を受けた後の注意事項

1. 予防接種を受けたあと30分間は、接種医療機関でお子さまの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応はこの間におこることがあります。注射の痛み、恐怖などからまれに失神が起こることがありますので、注射後の運動には気をつけましょう。
2. 接種後、1週間は体調に注意しましょう。また、接種後、腫れが目立つときや気分が悪くなったときなどは医師にご相談ください。
3. 接種スケジュール及び接種間隔等につきましては、医師とよくご相談ください。
4. 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
5. 接種当日は激しい運動はさけてください。その他はいつもどおりの生活で結構です。
6. 副反応としては注射部位の症状として発赤(赤み)、硬結(しこり)、腫脹(腫れ)など、全身症状として疲労、頭痛、胃腸症状、発熱、発疹などです。